

日本歯科医学会

第106回臨時評議員会 議事録

日時 令和3年8月30日（月）

# 日本歯科医学会第 106 回臨時評議員会議事録

- 日 時 令和 3 年 8 月 30 日 (月)  
午後 2 時 00 分開会、同 3 時 23 分閉会
- 場 所 東京都千代田区九段北四丁目 1 番 20 号  
歯科医師会館 801・802 会議室  
オンライン (Zoom 開催)
- 出席者 評議員 歯科基礎医学会 宇田川信之 外 60 名  
役 員 学会会長 住友雅人 外 32 名

## ○会議の成立

○小林総務理事 皆様方、大変お待たせいたしました。定刻になりましたので、ご着席お願いいたします。

評議員の先生方におかれましては、お忙しいところご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

それでは、仮議長が選出されるまでの間、私、総務理事の小林が司会・進行役を務めさせていただきますと思います。よろしくお願いいたします。

最初にご案内申し上げますが、令和 3 年 6 月 7 日開催の第 105 回臨時評議員会におきまして、本学会会長に住友雅人先生が選出されました。その際に、学会副会長の選任にあたりましては、後日、学会会長から指名のありました先生を、また、学会理事の選任にあたりましては、後日、学会会長、専門分科会ならびに日本歯科医師会会長から指名のありました先生を充てること事前承認されております。本日は、ご指名いただいた先生方のご紹介を後ほど行うことになっておりますので、お含みおきください。

早速、会議を進行していきたいと存じます。お手元の日程に従いまして氏名点呼を行いますが、この氏名点呼をもちまして、評議員の先生方のご紹介に代えさせていただきますと思います。ご自分のお名前を呼ばれました際には、大変恐縮ですが、ミュートを解除して、一言、自己紹介のご発言をしていただき、発言終了後は、再度ミュートをお願いいたします。

これより氏名点呼を行います。それでは、事務局、氏名点呼をよろしくお願いいたします。

(事務局氏名点呼)

○事務局 氏名点呼は以上です。点呼漏れの方はいらっしゃいますか。

○小林総務理事 ただいま事務局が点呼に伴いまして集計を行っておりますので、少々お待ちくださいませ。

○事務局 ご報告いたします。評議員総数 68 名中、出席評議員 59 名、欠席評議員 9 名、以上でございます。(※最終的な評議員出席者は 61 名)

○小林総務理事 事務局、ありがとうございました。

事務局からの報告のとおり、出席評議員 59 名、欠席評議員 9 名。従いまして、日本歯科医学会規程第 15 条により、本評議員会は成立いたしました。

それでは、ただいまより第 106 回臨時評議員会を開催いたします。

また、本日、予備評議員の先生方がご出席されております。お名前を読み上げます。4 番、前田英史評議員。12 番、宮脇正一評議員、38 番、菊谷 武評議員、39 番、中原 賢評議員、以上の方々は事前に通知があり、事務手続が済んでおりますことをご報告申し上げます。

## ○開会の辞

○小林総務理事 それでは、日程に従いまして、「日程 1. 開会の辞」を松村副会長にお願いいたします。

○松村副会長 皆様、こんにちは。本日はご多忙のところご出席を賜り、どうもありがとうございます。ただいまから日本歯科医学会第 106 回臨時評議員会を開催いたします。

本日は、議案が 2 件上程されてございます。慎重なるご審議を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

○小林総務理事 松村副会長、ありがとうございました。

## ○仮議長の選出

○小林総務理事 次に、「日程 2. 仮議長の選出」でございますが、執行部にご一任いただけますでしょうか。

○小林総務理事 ありがとうございます。それでは、特にご異議がないようですので、こちらから指名をさせていただきます。慣例により、日本歯科医師会選出で在京の先生にお

願いたいと思います。60番、東京地区の勝俣正之先生に仮議長をお願いしたいと存じます。勝俣先生、どうぞよろしく願いいたします。

○仮議長（勝俣正之君） ただいまご紹介いただきました日本歯科医師会東京地区選出の勝俣でございます。

それでは、指名でございますので、暫時、仮議長を務めさせていただきます。評議員の先生方のご協力を賜りまして、議長が選出されるまでの間、円滑に会議を進めてまいりたいと存じます。どうぞよろしく願いいたします。

## ○議事録署名人の指名

○仮議長（勝俣正之君） それでは、日程に従いまして、「日程 3. 議事録署名人の指名」をさせていただきます。45番、依田哲也評議員、64番、末瀬一彦評議員、以上2名の評議員の先生方をお願いいたします。

## ○日程の変更

○仮議長（勝俣正之君） ここで、議場にお諮りいたします。日程では「4. 挨拶」となっておりますが、新しい議長のもとで行っていただくようにということで、日程を一部変更いたしまして、日程「7. 議事」に入り、議長及び副議長の選出を行いたいと存じますが、ご異議ございませんか。発言のある方は、ご自身のパソコンのミュートを解除してご発言ください。

○仮議長（勝俣正之君） ご異議ないようでございますので、日程を一部変更いたしまして、「日程 7. 議事」に入り、議長及び副議長の選出を行います。

## ○議事

### ○第1号議案 評議員会議長及び副議長の選出

○仮議長（勝俣正之君） 「第1号議案 評議員会議長及び副議長の選出」を議題といたします。提案理由の説明を小林総務理事よりお願いいたします。

○小林総務理事 それでは、「第1号議案 評議員会議長及び副議長の選出」についての提案理由を説明申し上げます。

この議案は、日本歯科医学会規程第13条第3項、「評議員会の議長及び副議長は評議員

の中から互選し、任期は第 12 条第 2 項を準用する」の規定に基づきまして、評議員会議長および副議長の選出を行うものであります。また、第 12 条第 2 項は、読みかえ規定として、「評議員会議長の任期は 2 年とし、選任された年の 7 月 1 日に始まる」と定めております。以上、提案理由の説明を終わります。

○仮議長（勝俣正之君） ただいまの執行部からのご提案でございますが、評議員会議長および副議長の選出につきましては、評議員の互選でお願いするとのことですので。いかが取り計らえばよろしいでしょうか。ご意見のある方は議席番号と氏名を告げて、議長の許可を得てからご発言ください。なお、ご発言に際しましては、ご自身のパソコンのミュートを解除のうえ、ご発言いただき、ご発言終了後は、再度ミュートに設定いただきますようお願いいたします。

上野評議員、ご発言をお願いします。

○上野評議員 私としましては、以前に副議長を務められ、議事運営に豊富な知識と経験をお持ちでいらっしゃいます、日本歯科理工学会選出の宇尾基弘先生を評議員会議長にご推挙いたします。また、副議長の選出につきましては、議長に一任することを提案申し上げます。以上です。

○仮議長（勝俣正之君） ただいま上野評議員より、宇尾基弘先生を議長にご推挙し、副議長の選出につきまして議長に一任したい旨のご提案がありましたが、ご異議ございませんか。異議やほかのご意見等がある場合は、議席番号と名前をおっしゃってください。

○仮議長（勝俣正之君） ご異議がないようでございますので、宇尾基弘先生を評議員会議長として決定させていただきます。また、副議長の選出につきましては、議長に一任することで決定いたしました。

それでは、ここで宇尾議長と交代いたします。評議員の先生方、円滑なる議事運営に格段のご協力をいただき、誠にありがとうございました。宇尾先生、よろしく申し上げます。

○議長（宇尾基弘君） 宇尾でございます。一言ご挨拶を申し上げます。

まず、仮議長をお務めいただきました勝俣先生、大変お疲れさまでした。誠にありがとうございました。

このたび、名誉ある評議員会議長として皆様方よりご指名賜りまして、誠に光栄に存じます。責任の重さを一層痛感しておりますが、ここに皆様方のご推挙を受けましたからに

は、日本歯科医学会の発展と歯科医学・医療の進歩向上に誠心誠意努力をさせていただき所存でございます。評議員の先生方、また執行部の先生方のご理解とご協力をいただきまして、評議員会の議事運営を円滑に進めてまいりたいと存じます。今後とも皆様方のご指導、ご鞭撻をお願いいたしまして、就任のご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくをお願いいたします。ありがとうございました。

副議長の選出ですが、ただいま議長一任を頂戴いたしましたので、誠に僭越ではございますが、議長より副議長を指名させていただきます。私が基礎系ですので、副議長にはぜひ臨床系の先生にお願いしたいと存じます。前期評議員会でも副議長を務められました、日本口腔インプラント学会選出の築瀬武史先生に引き続き副議長をお願いしたいと存じます。

それでは、築瀬先生、一言ご挨拶をお願いいたします。

○副議長（築瀬武史君） ありがとうございます。ただいま宇尾議長よりご指名をいただき、また、評議員の先生方よりご承認賜りました築瀬でございます。評議員会副議長に選ばれましたことは、このうえなく光栄に存じます。優れた宇尾議長のもと、前期に引き続き、本評議員会が公平かつ円滑に運営されますように、微力ではございますが議長をサポートさせていただきたく存じます。

誠に簡単ではございますが、就任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

○議長（宇尾基弘君） 築瀬先生、ありがとうございました。

## ○挨拶

○議長（宇尾基弘君） それでは、日程に戻りまして、会議を進めさせていただきます。

引き続きまして、「日程 4. 挨拶」に入ります。

はじめに、住友会長、ご挨拶をお願いいたします。

○住友会長 住友雅人でございます。過日、7月7日の学会第1回理事会に先立ちまして、堀日本歯科医師会会長から日本歯科医学会会長の委嘱状をいただきました。今日は、挨拶といたしまして、今期の学会事業を推進していただきます新しい委員会体系を説明させていただきます。皆様方には、資料としてお手元にお送りいたしましたが、今日はここで、画面共有で説明をさせていただきます。

左の方が常置委員会でございまして、以前は5つの常置委員会でございましたが、今般

は8つの常置委員会にさせていただきます。ここで新しく委員会として入ったのは、専門・認定分科会資格審査委員会、それから、歯科医療協議会、研究倫理審査委員会、利益相反委員会でございます。以前ここに常置委員会として入っておりました学術講演委員会は、これから臨時委員会の方に入っていて、ルーティンではない学術講演の業務をやっていたことになりました。

それから、常置委員会の右に学会顕彰と選挙管理がございますが、これは準常置とっていいかもしれません。

それから、右上にあります学術大会でございますが、これは現在、9月の第24回学術大会のために設置してございますが、来年の3月までこの形で続きますが、次に学術大会のこの準備委員会ができるのは、第25回の学術大会が2025年ですので、3年前にできるということで、2022年に、ここに第25回学術大会の準備委員会等が設置されます。従って、来年3月までこの形になります。

それから、新しく、言葉としては前にもございましたが、中央に「学会未来構想」ということで、学会のあり方協議会（仮称）がまたつくられました。これは、内容的には新しくなります。今後、日本歯科医学会としての在り方、これは一般社団法人日本歯科医学会連合が設立されたこともあり、それから、日本歯科医師会の公益団体の中にあるこの日本歯科医学会としてどのようにこれから活動すればいいかということ、もう一度原点に戻って進めてまいりたいというふうに思います。その他、合計7つの臨時委員会から構成されます。

連携をとっている団体・組織は、その「連携」の括弧の中でございますが、日本歯科医師会はもちろんでございますが、日本歯科医学会連合を始め、日本歯科専門医機構等、このような団体・組織と、今後とも強い連携のもとに事業を進めてまいりたいと思います。

以上をもって挨拶とさせていただきます。今後2年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

○議長（宇尾基弘君） 住友会長、ありがとうございました。

続きまして、日本歯科医師会会長、堀 憲郎先生にご挨拶をいただきたいと存じます。それでは、堀会長、ご挨拶をよろしく願いいたします。

○堀日本歯科医師会会長 皆様、こんにちは。日本歯科医師会会長の堀です。一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

まずは、大変厳しい状況ではございますが、第5次住友新執行部のもとで最初の評議員

会が開催されますこと、心からお祝いを申し上げたいと思います。評議員の皆様も半数近く顔ぶれが新しくなられたと承知をいたしておりまして、2年間の任期ではありますが、どうかよろしくお祈りを申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大が非常に厳しい状況であります。6月の前回のこの評議員会でもお話し申し上げましたが、これまでの日本歯科医師会一連のコロナ対応の中で、歯科界として2つ、胸を張れるポイントがあろうかというふうに振り返ります。

1点目は、いろいろなご意見がございましたが、国民、歯科医師、スタッフ、この健康と生命を守りながら、欠くべからざる歯科医療提供体制を維持する、この日歯としての基本方針をこれまで堅持できているということが1点ございます。

それから、2点目は、例えば今回の歯科医師によるワクチン接種協力などを典型とする、有事における医療人の一員としての決意・責任を、実績として内外に示していることというふうに振り返ります。6月のこの評議員会では、10日間で必要な講習受講者が6,000人を超えたと、驚くべき数字だと申し上げましたが、現在、1万9,000人が受講を終えておりまして、6月、7月の報告だけでも71万回を超える接種が行われております。8月を入れますと100万回に届くものというふうに思っています。

実は、昨日のNHKの番組で日本医師会から、このことについて認識が足りなくて、ニーズが少ないというような発言があったようでありまして、今日午前中に私から日本医師会会長には電話で申入れをいたしました。その後、文書でも申入れを行いますが、明らかに事実認識が違っていたということで、大変申し訳なかったと、皆様にはよろしくお伝え願いたいということもことづかっております。改めて善処を求めていくところでもあります。

いずれにしましても、日本歯科医学会、そして分科会、歯科大学、大学歯学部等の皆様のご協力によってできていることが多いと、重ねて感謝を申し上げるところであります。

今、新しい問題として、自粛による在宅生活に加えまして、自宅療養をしている感染者の方々が増えていると、こういったことへ対しまして、口腔健康管理の重要性をしっかりと理解いただいて、その徹底を促していく。これも我々歯科界としての責任であるということで、これも対応を進めているところでもあります。

また、既に公にしております「新たな感染症を踏まえた歯科診療の指針」の見直しにも着手を始めておりまして、学会には引き続きエビデンス面でのお力添えをお願いするところでもあります。

そして、前々回になります2月のこの評議員会でお話ししました「2040年を見据えた



歯科ビジョン」、これについては既に具体的な展開を始めております。各所管から企画書、そして計画書が出ておりまして、こちらも学会にかかわるものが少なくないと認識をしております。

また、来年の診療報酬改定議論も本格化をしております、学会からは未収載・既収載合わせて 80 を超える医療技術評価提案があったと承知をしております。いずれも培ってまいりました学会と日本歯科医師会、スクラムを組んで、オールデンタルの関係で対応していきたいと考えております。

結びになりますが、新たな日本歯科医学会執行部のご発展を期待し、来月に予定されております学術大会の成功を祈念申し上げまして、ご挨拶といたします。本日は、お招き大変ありがとうございました。

○議長（宇尾基弘君） 堀会長、ありがとうございました。なお、堀先生は、公務ご多忙のため、これをもちましてご退室なさいます。堀会長、お忙しいところ、誠にありがとうございました。

○堀日本歯科医師会会長 大変ありがとうございました。失礼いたします。

## ○役員紹介

○議長（宇尾基弘君） 続きまして、「日程 5. 役員紹介」に入りたいと存じます。

執行部、どうぞよろしくお願ひします。

○小林総務理事 それでは、私、総務の方から、役員の方のご紹介をさせていただきます。お一人ずつお名前を読み上げさせていただきますので、一言ご挨拶いただければと思います。

それでは、順番でお名前を読み上げさせていただきます。

まず、改めましてですが、会長、住友雅人先生。

○住友会長 住友でございます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

○小林総務理事 副会長、松村英雄先生。

○松村副会長 こんにちは。今期、副会長を拝命いたしました、日本大学歯学部で松村でございます。担当は歯科補綴学、クラウン・ブリッジでございます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

○小林総務理事 副会長、川口陽子先生。

○川口副会長 川口です。どうぞよろしくお願ひいたします。

○小林総務理事　そして、総務理事の、私、小林隆太郎です。どうぞよろしくお願ひいたします。

常任理事、石井信之先生。

○石井常任理事　こんにちは。神奈川歯科大学の石井でございます。分科会としては日本歯科保存学会に所属しております。前期に引き続き、今期もよろしくお願ひいたします。

○小林総務理事　常任理事、弘中祥司先生。

○弘中常任理事　こんにちは。昭和大学歯学部の弘中と申します。また、四役協議会の方にも入らせていただきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

○小林総務理事　常任理事、尾松素樹先生。

○尾松常任理事　常任理事の尾松です。日本歯科医師会では常務理事をさせていただいております。滋賀県の大津市で開業しております。どうぞよろしくお願ひいたします。

○小林総務理事　常任理事、津田勝則先生。

○津田常任理事　福岡の津田でございます。日本歯科医師会では会計担当常務理事をさせていただいております。どうぞよろしくお願ひいたします。

○小林総務理事　理事、佐藤真奈美先生。

○佐藤理事　佐藤真奈美と申します。日本歯科医師会から参加させていただいております。前期と同様、またよろしくお願ひいたします。

○小林総務理事　常任理事、井上富雄先生。

○井上常任理事　こんにちは。昭和大学歯学部の井上と申します。歯科基礎医学会に所属しております。どうぞよろしくお願ひいたします。

○小林総務理事　理事、林　美加子先生。

○林理事　大阪大学の林でございます。日本歯科保存学会からの参加です。どうぞよろしくお願ひいたします。

○小林総務理事　理事、馬場一美先生。

○馬場理事　昭和大学歯学部の馬場といいます。日本補綴歯科学会から出ております。どうぞよろしくお願ひいたします。

○小林総務理事　常任理事、鄭　漢忠先生。

○鄭常任理事　皆様、こんにちは。帯広協立病院の鄭でございます。今後2年間、どうぞよろしくお願ひいたします。

○小林総務理事　理事、森山啓司先生。

- 森山理事 東京医科歯科大学の森山でございます。所属学会は日本矯正歯科学会でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。
- 小林総務理事 常任理事、天野敦雄先生。
- 天野常任理事 こんにちは。日本口腔衛生学会の大阪大学、天野敦雄です。よろしくお願ひいたします。
- 小林総務理事 理事、早川 徹先生。
- 早川理事 皆様方、こんにちは。鶴見大学歯学部の早川と申します。日本歯科理工学会より参加させていただきます。よろしくお願ひいたします。
- 小林総務理事 理事、浅海淳一先生。
- 浅海理事 岡山大学、歯科放射線学会の浅海です。よろしくお願ひします。
- 小林総務理事 常任理事、牧 憲司先生。
- 牧常任理事 九州歯科大学、日本小児歯科学会の牧です。よろしくお願ひします。
- 小林総務理事 常任理事、小方頼昌先生。
- 小方常任理事 皆様、こんにちは。日本大学松戸歯学部の小方でございます。日本歯周病学会の理事長を拝命しております。よろしくお願ひいたします。
- 小林総務理事 理事、飯島毅彦先生。
- 飯島理事 昭和大学歯学部の飯島と申します。日本歯科麻酔学会の理事長を拝命しております。よろしくお願ひいたします。
- 小林総務理事 理事、渋谷 鑛先生。
- 渋谷理事 日本歯科医史学会、歴史の学会から参画しております渋谷でございます。よろしくお願ひいたします。
- 小林総務理事 理事、尾崎哲則先生。
- 尾崎理事 日本大学歯学部の尾崎でございます。日本歯科医療管理学会の理事長を現在拝命しております。よろしくお願ひします。
- 小林総務理事 理事、松野智宣先生。
- 松野理事 こんにちは。日本歯科大学の松野です。所属学会は日本歯科薬物療法学会です。どうぞよろしくお願ひいたします。
- 小林総務理事 理事、野本たかと先生。
- 野本理事 日本大学松戸歯学部の野本と申します。日本障害者歯科学会から参加させていただいております。よろしくお願ひいたします。

○小林総務理事 常任理事、水口俊介先生。

○水口常任理事 東京医科歯科大学の水口と申します。日本老年歯科医学会からの参加で  
ございます。よろしくお願いいたします。

○小林総務理事 常任理事、秋山仁志先生。

○秋山常任理事 日本歯科大学の秋山です。日本歯科医学教育学会に所属しております。  
よろしくお願いいたします。

○小林総務理事 常任理事、宮崎 隆先生。

○宮崎常任理事 こんにちは。口腔インプラント学会の宮崎です。勤務先は昭和大学です。  
よろしくお願いいたします。

○小林総務理事 理事、鱒見進一先生。

○鱒見理事 皆様、こんにちは。九州歯科大学の鱒見と申します。日本顎関節学会の理事  
長を拝命しております。よろしくお願いいたします。

○小林総務理事 理事、前田初彦先生。

○前田理事 こんにちは。愛知学院大学の前田です。日本臨床口腔病理学会から選出され  
ております。よろしくお願いいたします。

○小林総務理事 理事、奈良陽一郎先生。

○奈良理事 奈良陽一郎でございます。日本歯科大学生命歯学部でございます。現在、日  
本接着歯学会の理事長を仰せつかっております。先生方、よろしくお願ひします。

○小林総務理事 理事、佐久間克哉先生。

○佐久間理事 東京都開業の佐久間と申します。日本歯内療法学会からの選出です。どう  
ぞよろしくお願いいたします。

○小林総務理事 理事、吉成伸夫先生。

○吉成理事 松本歯科大学の吉成伸夫でございます。日本レーザー歯学会の選出でござい  
ます。どうぞよろしくお願いいたします。

○小林総務理事 理事、今井 裕先生。

○今井理事 今井でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○小林総務理事 そして、本日、安井理事におかれましては、所用により欠席とのご連絡  
がございました。

以上でございます。

○議長（宇尾基弘君） ありがとうございます。

## ○報告

○議長（宇尾基弘君） それでは、「日程 6. 報告」に入りたいと存じます。

(1) 一般会務報告を、小林総務理事よりよろしくお願いいたします。

○小林総務理事 それでは、令和 3 年 7 月 1 日から 8 月 23 日までの会務報告をさせていただきます。

本日の資料になりますが、12 ページ、資料 1 でございます。

まず、7 月 7 日、学会第 1 回理事会が開催されました。

7 月 20 日、学会第 1 回四役協議会が開催され、第 106 回臨時評議員会の運営、**Japanese Dental Science Review**、日本歯科医学会専門分科会資格更新基準、認定分科会資格更新基準につきまして協議が行われました。

同日、学会第 1 回英文雑誌編集委員会が開催されました。

13 ページですが、7 月 28 日、学会第 1 回歯科学術用語委員会が開催されました。

同日、第 1 回令和 4 年度新歯科医療機器・歯科医療技術産業ビジョン（仮称）作成ワーキンググループが開催されました。

8 月 6 日、第 1 回歯科医療協議会が開催され、令和 6 年度の診療報酬改定に向けた準備などが協議されました。

8 月 17 日、第 2 回四役協議会が開催されました。

8 月 23 日、第 1 回日本歯科医学会誌編集委員会が開催されました。

続きまして、14 ページ、資料 1②ですが、日本歯科医学会役員の業務分担です。全員の先生方に担当がございますので、ご確認くださいませようよろしくお願いいたします。

続きまして、16 ページ、資料 1③ですが、日本歯科医学会令和 3 年度諸会議開催予定です。ご確認くださいませようよろしくお願いいたします。

報告事項は、以上でございます。

○議長（宇尾基弘君） ありがとうございます。

続きまして、(2) **Japanese Dental Science Review (JDSR)** のデータベース収載につきまして、松村副会長よりよろしくお願いいたします。

○松村副会長 では、資料 17 ページの資料 2 をご覧ください。小さい字で恐縮でございますが、説明をさせていただきます。

今年の 6 月でございますが、**Clarivate Analytics** 社が発行しております **Science Citation**

Index Expanded、それから Journal Citation Reports 等に、ここに記載してございます Japanese Dental Science Review が収載されたという報告がございました。その内容の一部を表に示しております。表が 2 つに分かれておりますが、その上の段です。この上の段には、日本が編集発行元でございます歯学系の雑誌を掲載しております。

その中で、JDSR が 2020 年のインパクトファクターが 5.093 と表示されております。このインパクトファクターのもとになる引用件数と、2018 年・2019 年の論文数が右に記載してございますが、2018 年・2019 年の論文数は 2 年合わせて 43 編でございます。それから、2020 年の論文数は 25 を超えているということを報告申し上げます。

そのうえで、一般的に他の雑誌もそうなのですが、インパクトファクターが公表されたということになりますと、非常に投稿数が増えてまいります。本学会といたしましては、その投稿数の増加等に対応すべく、委員会、それから学会内部あるいは日本歯科医師会におきまして、17 ページの表の下に記載のような中期計画、当面の計画を立てさせていただいております。

まず、「JDSR の編集について」というところで、本年以降の措置としては、1 行目に記載がございますように、日本歯科医学会から依頼した総説論文の掲載、これは継続をさせていただきます。そして、日本歯科医学会の分科会から推薦されました、あるいは投稿されました論文についても、継続して掲載をさせていただきます。それから、後ほど説明いたしますが、その他の総説以外の範疇の論文ですね。これも、数に限りはございますが、これから先、掲載していこうという予定でございます。

次に、先生方に多少関係がある事項なのですが、3 行目でございますように、日本歯科医学会から分科会、あるいは先生方個人に対して、この雑誌の Editorial Board の推薦、または、先生方ご自身に就任依頼を発行させていただく場合があるということで、もし依頼がございました場合は何とぞお引受けいただければ幸いです。なお、Editorial Board のところに「(無期)」と書いてございますが、これは、「無期懲役」とかいう単語もありますけれども、期限が特に終わりを指定しないという意味の「無期」でございまして、決して「終身」の意味ではございませんので、その点ご理解をいただきたく存じます。本年から先は、任期を特に設けない Board をお願いする場合があるということでお読み取りいただければ幸いです。

また、JDSR は従来、分科会からの推薦、投稿という形で運営してまいりました。この体制はこれからも継続する予定でございますので、例えばの例でございますが、その下に

記載の、日本歯科医学会のプロジェクト研究の取りまとめにあたる総説論文でありますとか、そういった論文を投稿いただく場合は、ぜひとも日本歯科医学会のプロジェクト研究の課題番号を文末にお示しいただけると幸いです。そうしますと、特段説明がなくとも、これは分科会から投稿いただいたということになります。

そして、もう一つは、その下の方に記載してございます一般社団法人日本歯科医学会連合、この団体は日本歯科医学会と緊密に連携して運営されている団体でございますが、その団体がプロジェクトを持っておりまして、そのプロジェクトにかかわる論文ですね。これも一番下の欄に記載がございましたように、課題番号を記載して投稿していただきますと、本日の例文で記載の「2021-678」と書いてあるところが、これが例えば「101」となりますと、日本歯科医学会の専門分科会の1号の学会である歯科基礎医学会を示すという番号になります。この「9」の前の3桁、「678」にあたる3桁番号を記載して投稿していただきますと、その学会が投稿した論文ということで、自動的にカウントされます。そういったことを考慮いただいたうえで、JDSRに投稿していただければ幸いです。

続きまして、次の18ページでございますが、「研究倫理審査等について」ということで、これは下の方に書いてございます参考資料の中に、これは厚労省の資料なのですが、「医療技術評価提案書記載要領 抜粋」というところの中に、「有効性・効率性」及び⑤「④の根拠となる研究結果等」についてということで、これは、医療技術評価提案書のエビデンスレベルを示す論文として、下の方に記載してある1aから6までのものを文献の記載欄がございましたが、その中にこうした論文をぜひとも記入していただきたいと、そういう要請の文書でございます。こういった論文も、1aから4番にあたる場所、それから6番に関してはレターのような形でJDSRに投稿していただければ、これも分科会からの投稿ということで掲載の対象にはこれから先はなりますよというご案内でございます。

ただ、こういった予定をしても、掲載の本数には限りがございますので、冒頭申しましたとおり2020年は25編程度の掲載でございますが、本年、それから翌年に関しましては、少なくとも36～37編程度の論文は十分掲載可能であるという予算措置を講じております。場合によりましては、エビデンスレベルの高い論文が多く投稿された場合は、予算措置を講じまして36～37編以上も掲載すべく予算要求をしていくといった予定でございます。

以上のことをご理解いただきましたうえで、JDSRに対しまして分科会からの投稿、格別なるご支援を賜りたく、この場をおかりして報告かたがたお願い申し上げる次第でござ

います。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

○議長（宇尾基弘君） 松村副会長、ありがとうございました。

続きまして、(3) 第 24 回日本歯科医学会学術大会報告を、引き続き松村副会長よりよろしくお願ひいたします。

○松村副会長 では、ただいまの説明の次のページ、19 ページ、資料 3 をご覧ください。この資料は、第 24 回日本歯科医学会学術大会、本年 9 月 23 日から 25 日まで開催される学術大会の会議関係の報告でございます。

今年の 8 月 5 日に、総務部会、会場運営委員会／式典・催事委員会合同会議を開催しております。会議としては、ほとんど最後の追い込みの部分に入っております。8 月 5 日は、ご覧のようにオープニングプログラム、閉会式、装飾、抄録アプリ等について検討が行われたという報告でございます。この後、常任委員会を開催いたしまして、最終的に 9 月 23 日から 25 日までの会期中の運営に関する打ち合せをしております。

なお、本学術大会に関しましては、先生方ご承知のとおり、会期終了となる 25 日以降もオンデマンドの配信期間を設けておまして、その配信期間も学術大会への参加登録が可能な状態となっております。そういったことも含めて、この後、学術大会の会頭でもあります住友会長の方から、大会に関するご案内をさせていただき予定でございます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

以上です。

○議長（宇尾基弘君） ありがとうございます。

続きまして、(4) 会計現況報告を、津田常任理事よりお願ひいたします。

○津田常任理事 津田でございます。会計現況報告をいたします。

20 ページ、資料 4 をご覧ください。学会会計収支計算書、令和 3 年 4 月 1 日より令和 3 年 6 月 30 日まででございます。

事業活動収支の部、事業活動収入、特定資産運用収入、専門・認定分科会分担金収入、他会計からの繰入金収入等がございまして、事業活動収入計は、予算額 2 億 1,698 万円余、決算額は 5,840 円でございます。

事業活動支出、(1) 事業費支出、会員顕彰費支出、会誌関係費支出、学術研究関係費支出、専門分科会等助成金支出等がございまして、(2) 管理費支出、会議費支出、事務費支出、租税公課支出がございまして、(3) 他会計への繰入金支出がございまして、事業活動支出計は、予算額 3 億 890 万円余、決算額 1,235 万円余でございます。



それによりまして、事業活動収支差額は、予算額マイナス 9,192 万 1000 円、決算額マイナス 1,235 万 4,036 円となっております。執行率、予算との差額につきましては、記載のとおりでございますので、お目通しをお願いいたします。

続きまして、21 ページ、資料 4②をご覧ください。第 24 回日本歯科医学会学術大会会計収支計算書でございます。令和 3 年 4 月 1 日より令和 3 年 6 月 30 日まででございます。

事業活動収支の部、1 事業活動収入、(1) 参加登録料収入、(2) 広告協賛金収入、(3) 雑収入、(4) 他会計からの繰入金収入等がございます。事業活動収入計は、予算額 1,976 万円、決算額はございません。

続きまして、2 事業活動支出、(1) 事業費支出、これは大会準備費支出、大会運営費支出等がございます。(2) 管理費支出、これは大会準備費支出、租税公課支出がございます。続きまして、(3) 他会計への繰入金支出ということでございまして、事業活動支出計、予算額 1 億 9,770 万円、決算額 292 万円余でございます。

それによりまして、事業活動収支差額、予算がマイナス 10 万円、決算額がマイナス 292 万円余でございます。執行率、予算との差額につきましては記載のとおりでございます。

以上、私からの説明を終わります。

○議長（宇尾基弘君） 津田常任理事、ありがとうございました。

続きまして (5) 会長報告を、住友会長にお願いしたいと存じます。よろしくお願いたします。

○住友会長 それでは、早速画面共有でお願いいたします。会長報告をいたします。

日本歯科医学会は、歯科の存在意義を社会に伝え、同時に歯科界活性化を目指すことを目標としております。7 地区歯科医師会ならびに 45 分科会の皆様方の情報共有の重要な場として、日本歯科医学会学術大会が位置付けられております。本日は、第 24 回日本歯科医学会学術大会について、お願いの気持ちを込めてお話しさせていただきます。よろしくお願いたします。

次のパワーポイントをお願いいたします。これは、セカンドサーキュラーでございまして、改めてご確認いただきたいのですが、「逆転の発想 歯科界 2040 年への挑戦」ということでございます。メビウスの輪は、SDGs、持続可能な開発目標というものを意味しております。ポール・ヴァレリーの後ろ向きに未来に進むというボートがそこにデザインされ、これが既に皆様方のところにご案内されていると思います。

次のスライドをお願いいたします。その裏に、開会講演の 1、小泉進次郎先生、開会講演 2、

仕掛学の松村真宏先生、一般公開講演の池上 彰様のご案内、それと日本歯科医師会のシンポジウム 1、2 についてご案内しております、オンライン参加登録の記述を書いております。QR コードもついております。

次のスライドをお願いいたします。日本歯科医学会のホームページでございます。皆様ご存じのところでございますが、ぜひもう一度、改めて皆様方の所属されている会員の方にお伝えいただきたい。今、ブルーの矢印がある、第 24 回日本歯科医学会学術大会のバナーが張っております。日本デンタルショーは、2022 年 3 月の 4、5、6 日に延期されました。ここをまずクリックしていただく。

次をお願いいたします。そういたしますと、第 24 回日本歯科医学会学術大会について、会頭挨拶から、座長・演者へのご案内、参加登録と、研修単位登録、併催学術大会云々ということがございます。そして、「参加登録はこちら」と書いてある、このところ、左上ですが、矢印の上のピンクの部分ですが、ここから参加登録をしないと、例えば併催学術大会・年次大会の参加ということにはなりません。ここをクリックしていただいて登録をする、そして皆様方に URL を発行するということになりますので、この URL を入手しないとここには参加できません。

今回から「参加登録者数速報」というところを設けました。ここをクリックしていただくと「参加登録者数記録」、これは毎週火曜日に運営会社の方から報告がございまして、8 月 24 日現在、6,695 名。会頭としては大変寂しい数でございます。現地開催で 3 万人と言っていたわけでございますので、もう 1 カ月を切った段階で、まだ 6,700 名足らずということです。

この評議員会で、ぜひ皆様方の所属分科会、地区の歯科医師会、そこの左側には歯科医師会、その 7 つのブロックの登録数がございます。会員数はそんなに少ないわけではないと思うのですが、例えば北海道・東北地区、321 名の登録がなされております。とても寂しい数でございますし、ほか 7 ブロックの確認をお願いします。各ブロックでどれだけ登録されているかということです。大変な会員の年会費を使って、経済的にもそれを投入し、そしてエネルギーを投入しているこの学術大会に、こういう状況だととても会頭として寂しい気持ちがあるし、本当に歯科界活性化のためにみんなそういう気持ちになっているのかどうかというところまで、疑っているわけではございません。皆様方を信じておりますけれども、寂しい思いはございます。

次をお願いします。これが専門分科会と認定分科会の登録数でございます。例えば、も

う 1 万人近い会員がいるところ、登録数を見てください。その数しかまだ登録されていないのですね。それから、併催学会は、少なくとも 300 人ぐらい年次大会には参加しているわけでございますけれども、ほとんど 2 桁でございます。この人たちは本当にこれでいいのか、年次大会に参加していないのと同じ扱いになるのだろうかというふうに思います。ぜひ、この機会に多くの方々の登録をお願いしたいと思います。

これは、毎週水曜日に参加登録者数をこういう形で表示しておりますので、それぞれの学会、地区歯科医師会、どのぐらい増えているかということがはっきりわかると思いますので、これから引き続き確認をし、そして参加登録を推進していただきたいと思います。

次のスライドをお願いいたします。今般、公開講演・公開フォーラム案内チラシというのが矢印に向かってあります。ちょっと上げてみてください。次のスライドです。ここに、公開フォーラムが、これは一般の方々が参加登録をして、そして URL をこちらから発行します。その方々は自由に入ることができます。

「ダブルキャリアのすゝめ」という公開フォーラムをまず行います。それから、これが初日 23 日ですね。25 日の最後に、池上 彰さんに「ニュースから世界を見る」ということで、この世の中、どういうふうにならぬいろいろなお話をされるかわかりませんが、大変期待していますし、この前お会いしたときに、若者に対してぜひ何らかのインパクトのある話をお願いしたいということをお伝えしました。日本経済新聞には「大岡山通信」ということで記事が出ております。報告が出ておりますけれども、そういうものにも期待しております。

次をお願いいたします。これが裏面でございますけれども、公開フォーラムは、第 1 部、第 2 部、第 3 部と分かれておりまして、これはダブルキャリア、すなわち、歯科医師でありながらもう一つの仕事をプロとして持っておられる方、プロまでいかないまでもセミプロ、いろいろな方がここに登場いただいて、まず、1 部は、ご存知のように、歯科医師であってグループを結成している、ハイスピードボーイズに所属している GReeeeN から直接メッセージをいただきました。それをここで、1 つのストーリーとして皆様方にお示しをするということになっております。もう、ほぼでき上がっております。

第 2 部は、一人一人、6 名の方が、自分が行っているパフォーマンスをここで披露していただいて、私と藤井日本歯科大学学長で少しいろいろなお話をしようということです。

それから、第 3 部は、4 名の方々に、オンラインですけれども Zoom で集まっただいて、そして、実際若いころからどういうふうにして、その趣味をプロに持っていき、そ

ういうことをどのようにやられたか。それから、大学生のときに何を大学に求めるものだった、こういうふうにするともっと自分の能力を伸ばすことができたのではないか、そういう思いもここで語っていただきたいというふうに思っております。

次、お願いいたします。これは日本歯科医師会雑誌 7月号が、事前抄録集でございます。これはかつてないほど厚みのある冊子体になっておりまして、ここに詳しい抄録が出ております。学会に出ている分は今のところプログラムのタイトルだけでございますが、この抄録内容を皆様方にお伝えするように今準備をしております。日本歯科医師会雑誌 7月号をぜひ手にとって見ていただきたいということでございます。

本日の学会長報告は、参加登録へのお願いでございます。何とぞよろしくお願い申し上げます。

以上でございます。ありがとうございました。

○議長（宇尾基弘君） 住友会長、ありがとうございました。

続きまして、(6) 日本学術会議報告ですが、本日、日本学術会議歯学委員会委員長の市川哲雄先生がご出席ですので、ここで市川先生より、日本学術会議のご報告をいただきます。よろしくお願いいたします。

○市川日本学術会議歯学委員会委員長 ありがとうございます。日本学術会議歯学委員会の市川でございます。日本学術会議の活動に、日ごろ、ご協力、ご支援いただきまして、本当にありがとうございます。日本歯科医学会と連携を密にさせていただき、学術全般の動きの中で歯科のプレゼンスが示せるようにやっていきたいと思っております。

前回の評議員会からの報告ですが、22 ページ、資料 5 にありますとおりです。今後、各学会の先生方には、提言、「歯学・口腔科学分野の課題と展望」の執筆依頼、それから、先日アンケートにご回答いただきましたものをもとに作成する、コロナの報告への意見をいただくこととなりますけれども、ご協力、ご支援、よろしくお願い申し上げます。

ありがとうございました。以上です。

○議長（宇尾基弘君） 市川先生、どうもありがとうございました。

続きまして、その他の報告事項について、執行部よりご報告をお願いいたします。ございますでしょうか。

○小林総務理事 ありません。

○議長（宇尾基弘君） ありがとうございました。

それでは、ここで、これまでの報告に対するご質問をお受けいたします。ご質問のある

評議員の先生は、議長に議席番号とお名前をおっしゃってください。ご発言に際しては、ご自身のパソコンのミュートを解除のうえ、ご発言をいただき、発言終了後は再度ミュートに設定していただきますようお願いいたします。

ご質問などはございますでしょうか。

特にご質問等はございませんようですので、以上をもちまして「日程 6. 報告」は終了いたしました。

## ○議事

○議長（宇尾基弘君） 続きまして、「日程 7. 議事」に移ります。

### ○第 2 号議案 学会顧問の委嘱

○議長（宇尾基弘君） 「第 2 号議案 学会顧問の委嘱」を議題とさせていただきます。

提案理由の説明を、執行部よりよろしくようお願いいたします。

○小林総務理事 それでは、「第 2 号議案 学会顧問の委嘱」についての提案理由を説明申し上げます。

この議案は、日本歯科医学会規程第 10 条の規定に基づき、本学会顧問の委嘱を行うものです。

本執行部としましては、今後の本学会会務運営にあたって、役員経験が豊富であり、高い見識を有する黒崎紀正先生に顧問を委嘱し、ご就任いただきたいと考えております。本日の資料の 24 ページに黒崎先生の役職等を記載させていただいております。よろしくお願い申し上げます。

また、任期につきましては、令和 3 年 7 月 1 日より令和 5 年 6 月 30 日までの 2 年間となります。

以上、提案理由の説明を終わります。よろしくご審議お願い申し上げます。

○議長（宇尾基弘君） ありがとうございます。

それでは、「第 2 号議案 学会顧問の委嘱」についてのご質問をお受けいたします。

ご意見のある方は、ミュートを外して議席番号とお名前をおっしゃってください。ご質問等、ございますでしょうか。

ございませんようでしたら、ここで審議を打ち切りまして、採決に入りたいと存じます。

ご異議ございませんか。よろしいでしょうか。

○議長（宇尾基弘君） ご異議ないものとさせていただきます。

本議案の採決に関しましては、議案の性格に鑑み、特にご異議がなければ承認されたものとみなしたいと存じます。

「第 2 号議案 学会顧問の委嘱」について、執行部ご提案にご異議ございませんか。ご異議がある場合は、ミュートを外して議席番号とお名前をおっしゃってください。ご異議ございませんでしょうか。いかがでしょうか。

○議長（宇尾基弘君） ご異議ないものとさせていただきます。どうもありがとうございました。ご異議がないようでございますので、「第 2 号議案 学会顧問の委嘱」は可決確定をいたしました。

これで議事はすべて終了いたしました。

## ○協議

○議長（宇尾基弘君） 引き続き、これより「日程 8. 協議」に入ります。

(1) 学会会務運営について、今回、日本歯科医学会へのご質問およびご要望等について各評議員の先生方へ事前質問をお受けしましたところ、ご質問等はございませんでした。その他、ご質問等ございましたら、この場でお受けをいたします。ご質問のある先生は、ミュートを外して議席番号とお名前をおっしゃってください。ございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、(2) その他ですが、執行部からのご提案はございますでしょうか。

○住友会長 先ほど、10 万名ぐらいの会員の中で約 6,700 名、これは会員だけではなくて、いわゆる歯科衛生士の方だとか、そういう医療職の方も登録されていると思います。約 6% なのですね。今日ここに集っている方は約 100 名ですから、6 名は超えていると思うのですけれども、これを実行していいかどうか。本日ここに来られている方々で、もう既に登録されている方はどのぐらいいるかということでございますが、これは住友の勝手な提案でございますが、これを実行していいかどうか。いかがでございますでしょうか。そういう私たちも、まだ登録が済んでいないのですね、この執行部は。ですから、皆様方がまだ登録されていなくても、期日までにしっかりと登録していただけるということもあるので、あえてそれをやることはないというふうに執行部側も言っております。

回りくどい話になりましたけれども、そこまでやらなくても、今日、早速、皆様方ご本

人、やっていらっしやらない方、それから、そこの関係の方々にぜひ登録を勧めていただきたいということです。登録だけではなくて、ぜひこの第 24 回の学術大会にご参加いただきたいということです。これは、先ほど言いましたように、歯科というものの存在意義を世に示すこと、それから、我々歯科界の活性化のためにこの学術大会を成功裏に進めたい、終わりたいと、かように思います。もう 1 カ月を切りました。皆様方のご協力を切にお願いいたしまして、協議の、こちらの執行部の方から、もしくは学術大会三役の方からのお願いでございます。何とぞよろしくお願い申し上げます。

議長、以上でございます。お時間ありがとうございました。

○議長（宇尾基弘君） 住友会長、ありがとうございました。先生方のご協力、どうぞよろしくお願いいたします。

そのほか、評議員の先生方からのご提案、ご意見等はございますでしょうか。もしございましたら、ミュートを外してご発言をお願いいたします。

特にございませんようですので、これをもって協議を終了させていただきます。

以上をもちまして、第 106 回臨時評議員会の全日程の審議を終了させていただきました。

会議の議事運営に皆様のご協力とご理解を賜り、円滑な議事の進行が図れましたことを深く感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

## ○閉会の辞

○議長（宇尾基弘君） それでは、閉会の辞を川口副会長、よろしくお願いいたします。

○川口副会長 本日はお忙しい中、日本歯科医学会第 106 回臨時評議員会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。議事の円滑な運営にご協力いただきまして、心より感謝申し上げます。

先ほど住友会長よりお話がありましたように、9 月に行われます学術大会への参加、ご登録の件、よろしくお願いいたします。大学の先生方は、教室員、また、大学関係者、それから学部学生、留学生、学部学生だけではなくて専門学校の衛生士、技工士なども無料で参加登録もできます。それから、地区の歯科医師会の先生方には会員各位、また、診療所で働いていらっしやいます衛生士さん、技工士さんなども参加できますので、どうぞ登録の件、よろしくお願い申し上げます。コロナ禍ではありますが、オンライン開催でありますので、全国どこからでも参加して視聴することができます。最新の歯科医学情報、歯科医療技術を学ぶよい機会になると思います。登録だけではなく、ぜひ実際にご視聴して、

10月末まで実際にオンデマンド配信も行われておりますので、ご協力の件、再度お願い申し上げます。

評議員の先生方には、これから2年間、日本歯科医学会の会務運営にはいろいろご協力いただくことになると思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、これをもちまして閉会の辞とさせていただきます。どうも本日はありがとうございました。

午後3時23分閉会



第 106 回臨時評議員会

議 長 宇 尾 基 弘 ⑩

副 議 長 築 瀬 武 史 ⑩

議事録署名人 依 田 哲 也 ⑩

同 末 瀬 一 彦 ⑩